

# 経営方針と中期経営戦略

平成31年4月  
経営企画部

# 1 経営方針と中期経営戦略

## ① 経営方針

- (1) 常にお客様のニーズに応え、末永くご愛顧頂ける製品の開発・提供をめざす。
- (2) 常に経営革新を行い、強固な経営体質を目標とする。
- (3) 市場、社会情勢の変化に合わせて、時には方針を大きく変更する決定をする。いかなる状況においても、健全な経営を継続、収益性の高い企業を目指します。

## ②基本戦略

データ処理事業は、当社がこれまでに培った紙と情報処理の複合サービスに最新のIT技術を駆使し、お客様の販売促進事務低減のお手伝いを行い顧客とその顧客をこれまでに無く密接な関係に近づけ、人と人をつなぐことによりお客様と共に社会・経済価値を創造できる企業を目指す。

**「⇒印刷事業者から  
コミュニケーション創造企業へと転換する。」**

- 双方向化コミュニケーションの提供のためには、従来のような画一的な情報の通知に限定された成果物から、千差万別である顧客(人)にアプローチするパーソナライズと美粧性・プロモーション性・目に留めるインパクトを兼ね備えた成果物の比重を増加させなければなりません。  
さらに IT 技術により音声・動画への拡張機能を持たせます。
- 新規に導入したフルカラー高速プリンターの早期フル稼働と加工技術向上の為の設備投資を順次行います。
- 当社は市場で高まるペーパーレス要求にも対応できるサービスを持っており、クラウド通知サービスは、通知物の電子化要求に応用が可能と考えます。  
市場が情報伝達通知の手段としての紙の使用を敬遠しつつある昨今、投資拡販を行い事業拡大に向けて取り組みます。

- 新事業について、紙以外の素材(衣料品など)への印刷・プリントに関しては拡大の余地があると当社は考えます。そこでは「印刷」から当社が強い「プリント」への切り替えが進みつつあるため、オンデマンド技術を使えば市場の攻略は可能と考えます。
- プラスチック製品の環境への悪影響が指摘されつつあるため、当社のオンデマンド技術を活かした紙製二次包装(パッケージング)市場への進出に取り組みます。循環資材である紙の特性で付加価値を追求します。
  - 衣服・二次包装・ラベル・鞆・建材・壁紙他

**⇒「衣・住・パッケージング」分野への進出。**

## 2 数値目標

- **2023年度に売上高33億円・経常利益1.5億円を目指します。**
- 印刷事業を今後も主軸に据えつつ、当社が掲げる「次世代の印刷コミュニケーション」を推進する情報処理事業をさらに拡大させ、電子新事業を軌道に乗せます。